

中部運輸局海事振興部

令和2年3月10日

定例記者懇談会発表



C to Sea プロジェクト
海や船が「楽しく身近な存在」に
なるための取組み。
ポータルサイト「海ココ」→



連絡先：

国土交通省 中部運輸局 海事振興部

船舶産業課 松井、薄井

TEL 052-952-8020

プレジャーボート利用のインバウンド対応事業の実証実験の結果

～マリンチック街道「伊勢湾」を巡るチャーターヨットによる滞在型周遊ツアー～

国土交通省では、インバウンド対応の一環として富裕層誘致に向けた豪華チャーターヨット等のプレジャーボート利用による滞在型周遊ツアー活性化の環境整備などの海事観光推進に取り組んでいます。

令和元年12月15日から21日にわたり、マリンチック街道「伊勢湾」が整備された伊勢・志摩・鳥羽地域において、チャーターヨットの本場の欧州のツアー事業者を調査員として招へいし、国内初となる滞在型周遊ツアー事業の実証実験（体験モニターツアー）を行いました。

調査員からは、海女小屋、海産物、真珠などの伊勢・志摩・鳥羽地域の自然・水産物・文化が魅力的な観光コンテンツであることが評価される一方、欧州人の慣習に合わせたツアー日程や食事の提供方法を工夫するなどのサービス改善に向けた提案がありました。

滞在型周遊ツアー事業は、本場欧州の海事観光市場でもクルーズ旅客事業と並ぶ規模を有し、インバウンド旅行者の増加が期待される一方、地域の観光産業・公共交通との連携も含めた地方誘客・消費拡大を促し地域創生に資する我が国独自の事業展開が必要です。

中部運輸局では、実証実験を踏まえ、実証実験の地元の自治体や関係者とも結果を共有し連携して、次年度からの伊勢・志摩・鳥羽地域の滞在型周遊ツアー事業の実現に向けて取り組んでいきます。



実証実験に使用した船舶（2艇）



実証実験の参加者（調査員・スタッフ）

《同時発表》四日市市政記者クラブ、鳥羽志摩記者クラブ

滞在型周遊ツアー事業の実証実験（体験モニターツアー）の結果概要

1. ツアー期間・ルート
12/15(日)：マリーナ河芸（津市）集合 ⇒ 乗船準備 ⇒ 船内泊 12/16(月)：マリーナ河芸・出航 ⇒ 津～鳥羽クルーズ ⇒ 鳥羽マリンセンター・下船 ⇒ 鳥羽市内観光 ⇒ 陸路にて移動・宿泊先（鳥羽市・サン浦島）・宿泊 12/17(火)：宿泊先棧橋・乗船 ⇒ 鳥羽湾～的矢湾クルーズ ⇒ 相差港・下船 ⇒ 海女小屋 ⇒ 相差港・乗船 ⇒ 宿泊先（志摩市・いかだ壮）・宿泊 12/18(水)：宿泊先 ⇒ 陸路にて移動・真珠工場見学等 ⇒ 宿泊先（志摩市・久利庵）・船内泊 12/19(木)：宿泊先棧橋・乗船 ⇒ 英虞湾クルーズ ⇒ 宿泊先（志摩市・久利庵）・船内泊 12/20(金)：宿泊先棧橋・乗船 ⇒ 英虞湾クルーズ ⇒ 宿泊先（志摩市・檜扇荘）・宿泊 12/21(土)：宿泊先 ⇒ 陸路にて移動・伊勢神宮参拝・観光 ⇒ 伊勢市駅・解散
2. ツアー参加者（調査員）
・欧州のツアー事業者とその関係者 7 名 （イタリア 2 名・ロシア 2 名・トルコ 2 名・日本 1 名）
3. 調査員の意見・提案
<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設に棧橋があり、海から来場し、チェックインできるのはポート利用ならではのスペシャリティ。海女小屋などポートで乗り付けられる場所が多いのは、伊勢志摩の魅力。 ・志摩の英虞湾は、波風少なく快適なクルーズ・ジャパニーズフィヨルドが堪能でき、また、鳥羽の的矢湾は、ブランド牡蠣が一年中食べることができるなど海の観光コンテンツが豊富。 ・ツアー日程は、もっとゆっくりできる日程にした方がよい。欧州人は、基本、午前中は散歩程度で活動しないため、日中から夜のイベントを充実した方がよい。 ・欧州のチャーター利用の富裕層を対象とするのであれば、もっと船内宿泊を増やしてもよい。また、占有できる空間・機会を増やすのものが有効（貸切り部屋、プライベートビーチ等）。 <p>など</p>



志摩・英虞湾



宿泊施設の棧橋（志摩市・檜扇荘）



船内の宿泊室



実証実験中の調査員とポート・受入施設スタッフの意見交換の様子